

# 事業所における自己評価総括表(公表)

事務所名	放課後等デイサービス なないろの空
保護者評価実施期間	令和 7 年 10 月 28 日 ～ 令和 7 年 11 月 7 日
保護者評価有効回答数	(対象者数) 14 名 (回答者数) 14 名
従業者評価実施期間	令和 7 年 10 月 17 日 ～ 令和 7 年 10 月 24 日
従業者評価有効回答数	(対象者数) 6 名 (回答者数) 6 名
事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 12 月 15 日

## ★ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
①	・法令で定められている基準より職員を多く配置している。	・基準より多い人員を配置しているため、個別にも対応しやすく、急な予定変更にも対応できる。	・今後も人員に余裕を持つことで、児童が安心して安全に過ごせる環境を提供する。
②	・支援プログラムに沿って様々な活動を計画し、実施している。 ・法令で定められている基準より広いスペースを確保しているため、活動内容や状況に合わせてスペースを使い分けることが出来る。	・個別活動では児童それぞれの課題、集団活動ではコミュニケーションを取り入れたりしたり、個別と集団を活動内容に合わせて、バランスよく計画し実施している。 ・年間計画を立て、同じ活動でも個々に内容を変えながら児童が楽しみながら取り組めるよう工夫している。	・今後も主体は児童であるという事を忘れずに、活動の幅が広げられるよう、楽しく成功体験が積み重ねられるよう工夫していく。
③	・児童、保護者とのコミュニケーションを大切に、日頃から情報を共有することで、相談しやすい環境作りをしている。	・日頃からのやり取りを大切にするとともに、児童とは月に1度話をする機会を設けている。保護者とは心身の状況など小さなことでも日々のやりとりの中で丁寧に共有し、定期的な懇談の他にも困った時にはすぐに相談できる体制を整えている。	・保護者と情報をしっかりと共有することで、児童と一緒に支え合う関係性作りに努めていく。
④	・職員間の何でも相談できる風通しの良い職場環境。	・毎日のミーティングで意見を出し合い共有するほかにも、日常の些細なことを報告したり相談したりできる環境がある。様々な取り組みや出した意見も反映されやすい。また、年に2回相互理解を深めるために職員面談を行っている。	・日頃からコミュニケーションを密に取り合い、今後も職員が定着しやすい職場環境作りをしていく。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
①	・ペアレントトレーニングやご家族向けの研修会が出来ていない。	・現時点では子育ての悩み等に対する相談には随時応じ、懇談や必要な助言と支援を行っているが、ペアレントトレーニングに関しては専門的知識のある職員がいないため、そういった支援が行なえていない。	・勉強会を重ね、職員の知識・技術向上に努める。 ・保護者等が参加できる研修の機会や情報提供等を行っていく。
②	・保護者会の開催など、保護者同士の交流の場が作れていない。また、きょうだい同士で交流する機会を設けることが出来ていない。	・事業所からの保護者会開催を提案することが難しいと感じている。	・保護者同士、きょうだい同士の交流の機会の必要性を、ニーズを伺いながら検討する。
③	・地域との交流など地域に開けた事業所運営が出来ていない。	・学校や各機関との連携、地域資源の活用、SNS や HP で情報発信等を行っている。 ・公共施設や公園の利用などで地域との交流は図れているが、まだ周知不足な部分がある。	・ニーズを伺いながら必要に応じて、市町村や公的団体に助言を聞くなどして取り組みを考えていく。